

糖尿病患者さんと医療スタッフのための情報サイト
糖尿病ネットワーク Diabetes Net.
 生活エンジョイ物語

医療・健康情報グループ検索

検索

TOPへ ニュース/資料室 学会/イベント 特集/コラム 学ぶ/テキスト 談話室/BBS メールマガジン 初めの方へ 医療関係者向け情報

「カロリーゼロ」が料理を自由にする!

株式会社三和化学研究所

Abbott 糖尿病

ニュース/資料室



糖尿病3分間ラーニング



メールマガジン無料登録



facebook

糖尿病治療に「IoT」を活用 スマホで治療を改善 【参加者を募集中】

いいね! 6

ツイート

G+

2018年08月01日

カテゴリー: [ライフスタイル](#) [医療の進歩](#) [糖尿病の検査](#)

糖尿病患者2,000人を対象にした、これまでにない大規模な研究を、国立国際医療研究センター糖尿病研究センターなどが実施している。スマートフォンアプリ「七福神」を活用し、「IoT」によって糖尿病患者の行動変容をはかる。



IoTを活用して無理なく生活改善

糖尿病患者が血糖コントロールを改善するためには、体重管理や運動の習慣化を行うことが重要だ。

医師や保健指導者は、診療や保健指導を通して、自己管理のノウハウを提供し、動機づけを患者に行っている。

しかし、生活習慣病スタイルを変えていくのは患者自身だ。糖尿病患者が治療に対するモチベーションを維持し、治療からの脱落を防ぐために、これまでの医療機関からの一方通行の情報伝達だけでは十分ではない。

「PRISM-J」は、糖尿病患者が「IoT」を活用して、無理なく生活改善に取り組みながら、血糖コントロールと生活の質(QOL)を改善できる手法を検証する研究。今後の糖尿病治療のあり方に大きな変革をもたらす可能性のある取り組みとして注目されている。

研究には無料で参加できる。「IoT」を支援に利用することで、糖尿病患者の行動が変え、血糖コントロールを改善できると期待されている。

[PRISM-J 研究への参加を希望される方へ](#)

IoTで1人ひとりに適合した治療を実現

研究の正式名称は「IoT活用による糖尿病重症化予防法の開発を目指した研究(PRISM-J) - 2型糖尿病患者におけるIoT活用の行動変容を介する血糖改善効果の検証 -」。

「IoT」(アイオーティー)とは、身の回りの機械がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービスや技術のこと。

今回の研究では、身近にあるスマートフォンのアプリケーションと、活動量計・体重体組成計・血圧計などのデバイスを組み合わせて使用する。研究には自由に参加でき、デバイスは無償で提供される。

活動量計・体重体組成計・血圧計などのデバイスやアプリの使い方については、スタッフが分かりやすく教えてくれるので、初心者や高齢の人でも無理なく研究に参加することができる。

「七福神」が糖尿病の重症化予防を助ける

研究では具体的に、スマートフォンアプリを日常的に使用している2型糖尿病患者2,000人を研究対象にし、そのうち1,000人の患者に「七福神アプリ」を使用してもらう。研究を1年間行い、HbA1cの変化を比較する。

さらに、介入群は、「七福神アプリ」により日々の健康情報にもとづいたメッセージを受け取ることで、血糖コントロールの改善効果を検証する。

「七福神アプリ」とは、あいち健康の森健康科学総合センター(津下一代センター長)が経済産業省の「IoT推進のための新産業モデル創出基盤整備事業」の結果にもとづき、バ

資料室 / ニュース一覧へ▶

新着ニュース

- [糖尿病の新しい治療 新型のCGMが登場 第78回国糖尿病学会\(2\)](#)
- [糖尿病治療に「IoT」を活用 スマホで治療を改善 【参加者を募集中】](#)
- [「10月8日は、糖をはかる日」今年 は“写真”を募集します! 2018年コンテスト作品募集開始!](#)
- [「10月8日は、糖をはかる日」講演会2018 参加者募集開始!](#)
- [東京糖尿病療養指導士\(東京CDE\) 2018年度講習会申込受付中](#)

おすすめニュース

- [糖尿病治療に「IoT」を活用 スマホで治療を改善 【参加者を募集中】](#)
- [東京糖尿病療養指導士\(東京CDE\) 2018年度講習会申込受付中](#)
- [「糖尿病の恐さ」は十分に知られていない 失明や足切断を防ぐために](#)
- [糖尿病の「メンタルヘルス」は重要 うつ病を予防するために](#)
- [世界の8.5億人が「腎臓病」 糖尿病の2倍の「隠れた流行病」に](#)

いいね! 記事ランキング

[尿1滴で「糖尿病腎症」の悪化を予測 尿中糖鎖で進展を判定](#)

いいね! 198

[「夜間低血糖」をいかに防ぐか FGMを活用した新しい糖尿病治療](#)

いいね! 177

[「超加工食品」が糖尿病やがんのリスクを高める 食べ過ぎに注意](#)

いいね! 167

[血糖値を一定に保つ「恒常性維持機構」 新たな糖尿病治療に期待](#)

いいね! 150

[人工透析の原因1位は「糖尿病腎症」 「日本腎臓病協会」が設立](#)

いいね! 150

ーションアップして開発したスマートフォン専用アプリケーション。

まず患者は、自分のスマートフォンに、「七福神アプリ」に加えて、測定機器のデータを連動する専用アプリをダウンロードする。患者には通信機能のある血圧計と体重体組成計、活動量計が無償で提供される。専用アプリでこれらの機器を登録し、測定データを無線で転送・記録できるようにする。

無理なく治療を継続 七福神が励ましてくれる

測定データは「七福神アプリ」に連動する。アプリでは、患者が食事や運動をよりよく自己管理できるようにするために、七福神のキャラクターが測定データをもとに励ましのメッセージを呼びかける。

週2回の応援メッセージを表示するほか、4週間ごとに測定値の平均と目標値との差分などをまとめたサマリーも表示する。測定しない日が続くと、アラートを通知し、脱落を防止する。

「七福神」のそれぞれのキャラクターには担当があり、測定値や記録により褒めたり喜んだり、時に悲しんだりする。たとえば働き者の恵比寿は歩数の管理、少しお腹の出た布袋尊は体重管理など、測定状況に応じて表情などを変えながらコメントする。



情報ファイル

- [血糖トレンドの情報ファイル](#)
- [糖尿病の運動療法情報ファイル](#)
- [グリコアルブミン情報ファイル](#)
- [インスリンポンプ情報ファイル](#)
- [患者さんのためのおやつ情報](#)
- [間食指導の情報ファイル](#)
- [スローカロリーの情報ファイル](#)
- [宅配糖尿病食で、自宅入院](#)

IoT活用による糖尿病重症化予防法の開発を目指した研究(PRISM-J) 「七福神アプリ」の活用イメージ



身近なスマホを使った自己管理 医療者にもメリットが

参加者はスマートフォンを使って、日々の健康情報をセルフモニタリングする。アプリは使い勝手が良く、初心者でも使いやすいように工夫されている。メッセージを定期的受信することで、自然に糖尿病の人の行動の変化を促し、HbA1cを改善する効果が期待されている。

週2回届く七福神からメッセージは多彩だ。頑張っても効果が出れば「がんばっておられて、うれしゅうございます」と褒めてくれるし、運動を少しさぼった時は「もう少し動くと体力が落ちるぞ」と激励してくれる。

毎日の健康管理に伴走してくれるので、楽しみながら続けられる仕掛けになっている。実証研究では、アプリを利用した群では、3カ月後、6カ月後までのHbA1cの変化量が有意に改善した。

「七福神アプリ」のデータは、専用クラウドにも転送され、医師や保健指導者が遠隔で患者の様子を確認することもできる。

医師は提供された健康データや指導者用サマリーレポートにより、診察日と診察日の間の健康状態、生活態度を簡便に把握することができるようになる。

facebook

更新情報 配信中!

dm net 糖尿病ネットワ

このページに「いいね！」

「いいね！」した友達はまだいません

dm net 糖尿病ネットワーク

23時間前

【資料提供】栄養を効率よく摂取するには？病態別レシピ申し込み受付中

カリフォルニアくるみ協会提供の「病態別レシピ」は、心疾患・糖尿病・脳の健康・体重管理（肥満・低栄養）別のレシピの他、くるみの栄養情報、保存方法などのノウハウが詰まっております。使用し、や

食事療法に役立つ製品カタログ

宅配食 おやつ 甘味料 精製調整食品 たんぱく質調整食品

Twitter



新たな保健指導の方法を開発

特定健診・保健指導の調査によると、特定健診で受診を勧められても、病院に行かない人の割合は約50%(2,790万人)に上る。積極的に治療を受ける患者の割合は低く、早期発見・早期治療が十分に実施されていない。

糖尿病の人の生活背景を把握するために人手や時間を必要とするため、多くの医療機関で常に行えるわけではない。そこでIoTを活用することで、糖尿病患者の重症化を防げる可能性がある。

「健診データとウェアラブル端末から得られた活動量や体重、血圧などの数値や、スマートフォンのアプリから受け取るメッセージによって、糖尿病の方の行動の変化やHbA1cなどの改善を得られるかを検証します。研究で得られたデータを新たな保健指導の方法の開発に活用するなど、データとして広く活用する手法も検討します」と、国立国際医療研究センター糖尿病研究センター長の植木浩二郎氏は言う。

各地で「PRISM-J」の説明会を開催

説明会が全国各地で開催され、「PRISM-J」の参加方法などが詳しく説明されている。参加しようか迷っている人には、説明会で研究担当者が相談に対応する。

PRISM-J説明会の日程

8月の開催については、2日(木)にTKP東京駅日本橋カンファレンスセンターで、6日(月)にTKP札幌ホワイトビルカンファレンスセンターで、7日(火)に三菱総合研究所で、20日(月)にTKP仙台カンファレンスセンターで、21日(火)にTKP浜松アクトタワーカンファレンスセンターで、23日(木)にTKP東京駅日本橋カンファレンスセンターで、27日(月)にTKP熊本カンファレンスセンターで、28日(火)にTKPガーデンシティPREMIUM博多駅前で、それぞれ開催される。

「PRISM-J」説明会の今後の日程は、下記ページで詳しく紹介されている。

PRISM-J説明会の日程

説明会が全国各地で開催され、参加方法などが詳しく説明されている。

IoTの活用が行動を変えるきっかけに

この臨床研究「IoT活用による糖尿病重症化予防法の開発を目指した研究(PRISM-J)～2型糖尿病患者におけるIoT活用の行動変容と血糖改善効果の検証～」は、国立国際医療研究センターが日本医療研究開発機構(AMED)の2017年度「IoT等活用生活習慣病行動変容研究事業」の採択を受け、実施されている。

日常行動を変えるために、IoTを役立てる試みははじまったばかりだ。成功すれば、IoTの活用が行動を変えるきっかけになり、糖尿病治療を良好に続けられ、糖尿病合併症を防ぐための大きな手助けとなるだろう。

PRISM-J

[PRISM-J 研究への参加を希望される方へ](#)

[PRISM-J 糖尿病の方を対象とした研究について](#)

研究方法や参加条件など、研究についての詳細な情報が公開されている。

おっ
@ohphenz

ナッツを毎日食べると健康増進の効果を
得られる がんリスクも低下 | ニュ
ース・資料室 | 糖尿病ネットワーク
dm-net.co.jp/calendar/2015/...
@dmnet_jpから

ナッツを毎日食べ...
dm-net.co.jp

17時間

陣内貴子
@jinnai_2018

暑い日はペットボトル症候群に注意 |

埋め込む Twitterで表示

いいね！記事ランキング

[尿1滴で「糖尿病腎症」の悪化を
予測 尿中糖鎖で進展を判定](#)
いいね！ 196

[「夜間低血糖」をいかに防ぐか
FGMを活用した新しい糖尿病治療](#)
いいね！ 177

[「超加工食品」が糖尿病やがんの
リスクを高める 食べ過ぎに注意](#)
いいね！ 167

[血糖値を一定に保つ「恒常性維持
機構」 新たな糖尿病治療に期待](#)
いいね！ 150

[人工透析の原因1位は「糖尿病腎
症」 「日本腎臓病協会」が設立](#)
いいね！ 150

メールマガジン
糖尿病関連の最新情報を
毎月2回配信！

●一般・患者向け
●医療スタッフ向け

登録はこちら

[Terahata]

[日本医療・健康情報研究所](#)**医療の進歩 最近のニュース**

- [糖尿病の新しい治療 新型のCGMが登場 第78回米国糖尿病学会\(2\)](#)
- [糖尿病治療に「IoT」を活用 スマホで治療を改善 【参加者を募集中】](#)
- [糖尿病の新しい治療 「人工膵臓」の進歩 第78回米国糖尿病学会\(1\)](#)
- [糖尿病の「メンタルヘルス」は重要 うつ病を予防するために](#)
- [1回の注射で糖尿病と肥満の両方を治療 FGF21治療の開発に成功](#)
- [血糖値を一定に保つ「恒常性維持機構」 新たな糖尿病治療に期待](#)
- [「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」の全国の普及率は76%超](#)
- [尿1滴で「糖尿病腎症」の悪化を予測 尿中糖鎖で進展を判定](#)
- [眼底網膜像を「自撮り」できる小型眼底カメラシステム開発](#)
- [「夜間低血糖」をいかに防ぐか FGMを活用した新しい糖尿病治療](#)

カテゴリー： [ライフスタイル](#) [医療の進歩](#) [糖尿病の検査](#)[▶ ニュース記事の二次利用について](#)

いいね! 6

ツイート

G+

**■最新ニュース****糖尿病の新しい治療 新型のCGMが登場 第78回米国糖尿病学会(2)**

第78回米国糖尿病学会(ADA2018)ダイジェスト(2) 第78回米国糖尿病学会年次総会(ADA2018)が6月22日~26日にフロリダ州オーランドで開催され、糖尿病治療の最新動向を示す多くの研究が発表さ... [続きを読む▶▶](#)

糖尿病治療に「IoT」を活用 スマホで治療を改善 【参加者を募集中】

糖尿病患者2,000人を対象にした、これまでにない大規模な研究を、国立国際医療研究センター糖尿病研究センターなどが実施している。スマートフォンアプリ「七福神」を活用し、「IoT」によって糖尿病患者の行動変容を... [続きを読む▶▶](#)

「10月8日は、糖をはかる日」今年も“写真”を募集します！2018年コンテスト作品募集開始！

「10月8日は、糖をはかる日」は、「血糖を知る、はかる、コントロールする」をテーマに、血糖の働きを正しく理解し、コントロールして、健康的な生活づくりに役立てるきっかけにしていきたいという思いを込めて、2... [続きを読む▶▶](#)

「10月8日は、糖をはかる日」講演会2018 参加者募集開始！

毎年、大変ご好評いただいております「10月8日は、糖をはかる日」講演会が今年も開催されます!! 糖尿病医療のエキスパートによる講演を聴くことができる貴重なチャンスです。参加費は無料。一般の方、糖尿病患者さん、医... [続きを読む▶▶](#)

東京糖尿病療養指導士(東京CDE) 2018年度講習会申込受付中

「東京糖尿病療養指導士」(東京CDE)、「東京糖尿病療養支援士」(東京CDS)の2018年度の受験者用講習会の申込受付が7月より開始した。申込期間は8月31日(金)まで。詳細は「東京糖尿病療養指導推進機構」... [続きを読む▶▶](#)

心血管腎臓病に克つために

第82回 日本循環器学会学術集会 ランチョンセミナー 44より ... [続きを読む▶▶](#)

糖尿病の新しい治療 「人工膵臓」の進歩 第78回米国糖尿病学会(1)



第78回米国糖尿病学会(ADA2018)ダイジェスト(1) 第78回米国糖尿病学会年次総会(ADA2018)が6月22日～26日にフロリダ州オーランドで開催され、糖尿病治療の最新動向を示す多くの研究が発表さ... [続きを読む▶▶](#)

「糖尿病の恐さ」は十分に知られていない 失明や足切断を防ぐために



英国では、糖尿病のために毎週およそ30人が視力を喪失しており、毎時間に1人が足を失っている。しかし、英国人の多くが「糖尿病の恐さ」について十分に理解していないという調査結果を、英国糖尿病学会(Diabeto... [続きを読む▶▶](#)

認知症の原因は「日常生活活動」の低下 糖尿病を治療して予防



国立精神・神経医療研究センター(NCNP)は、認知症の発症予防を目指したインターネット健常者登録システム「IROOP」を用いた研究の成果を発表した。風呂に入る、洋服を着ることなどの「日常生活活動」が低下する... [続きを読む▶▶](#)

糖尿病の「メンタルヘルス」は重要 うつ病を予防するために



第78回米国糖尿病学会(ADA2018) 第78回米国糖尿病学会年次総会(ADA2018)が6月22日～26日にフロリダ州オーランドで開催され、糖尿病治療の最新動向についての多くの研究が発表された。糖尿病患者... [続きを読む▶▶](#)

[ニュース一覧へ▶](#)

[▲1行目へ戻る](#)

※2012年4月からヘモグロビンA1c (HbA1c) は以前の「JDS値」に0.4を足した「NGSP値」で表わされるようになりました。過去の記事はこの変更に対応の部分がありません。

Copyright ©1996-2018 Soshinsha. 掲載記事・図表の無断転用を禁じます。
治療や療養についてかかりつけの医師や医療スタッフにご相談ください。

[糖尿病ネットワークのトップページ](#)

[ニュース記事の二次利用について](#) | [利用規約](#) | [個人情報取扱い](#) | [お問合せ](#) | [広告受付](#) | [更新案内](#)

このページへのお問い合わせ、ご意見は[こちら](#)までお寄せください。 ©1996-2018 [soshinsha](#)